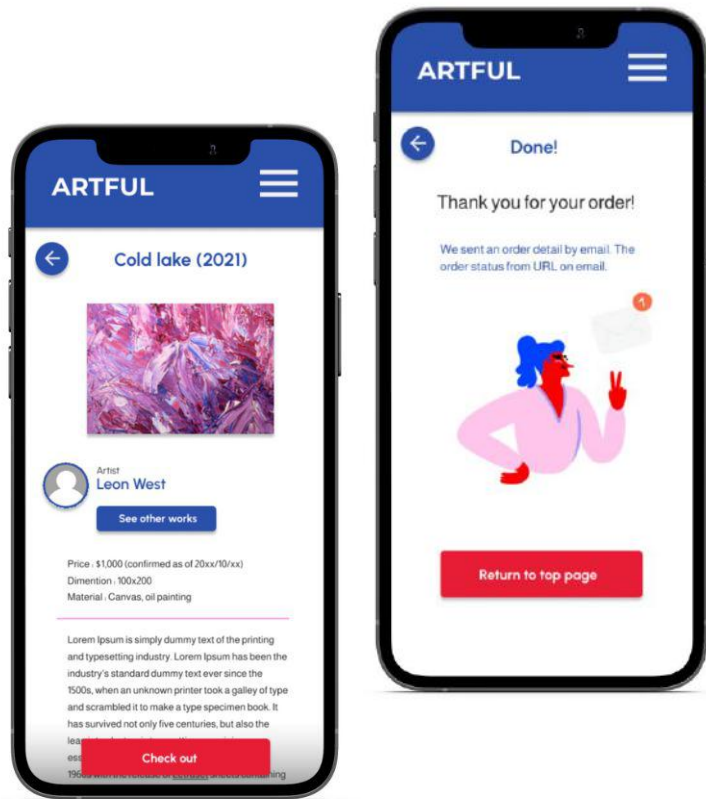


ARTFULL

アートギャラリーのためのアプリ
(架空のサービス)



プロジェクト概要



製品

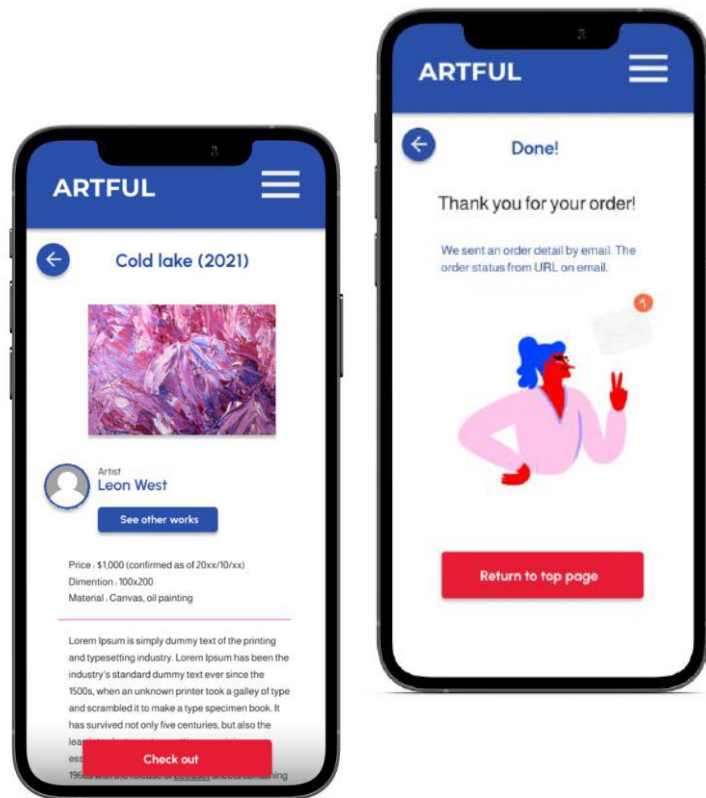
Artfulはアートギャラリーのための美術史アプリ。オンラインギャラリーとして機能し、アプリ内で作品を購入することができる。

Artfulは、アートについて学ぶ機会も提供。作品の解説、背景知識を提供する、初心者優しいアプリです。



プロジェクト期間

2022年8月～2023年2月



プロジェクト概要



問題:

田舎に住んでいると、利用者はギャラリーに行くことができない。

また、美術になじみがない人にとってはギャラリーに行く、アート作品を買うのは敷居が高いと感じてしまうこともある。



ゴール:

ユーザーに美術品や美術の基礎について学ぶ機会を提供し、気に入ったものを見つけたらアプリからオンラインで購入できるようにする。

プロジェクト概要



私の役割:

コンセプトから納品まで、ArtfulをデザインするUXデザイナー。



担当部分:

- ユーザーリサーチ
- ユーザーインタビュー
- ワイヤーフレーム
- プロトタイピング
- アクセシビリティの考慮
- アプリのビジュアルデザイン

ユーザーを理解する

- ユーザーリサーチ
- ペルソナ
- 問題ステートメント
- ユーザージャーニーマップ

ユーザーリサーチ: 概要



ユーザーリサーチを実施し、アプリからの作品閲覧・購入がユーザーにとって容易であることを確認した。このアプリで競合他社に勝てるようなユーザー満足度と売上を確保する必要があります。

遠距離で作品を購入することは、田舎に住んでいて物理的に画廊に行くことができない人だけでなく、美術に関する知識がゼロだと画廊に行くのも気が引けるという人にも役立ちます。

ユーザーリサーチ: ペインポイント

1

距離

アートギャラリーを訪れる方法がないユーザーもいる。

2

恐れ

美術品購入の経験不足から来る恐怖心が、地元の画廊での購入から遠ざけている。

3

時間

ユーザーがお金を払う価値のあるお気に入りの作品を見つけるまで、いくつかのアートギャラリーを訪れるには時間がかかる。

ペルソナ: ジョー

ジョーのしたいこと:

自分の部屋に合うアート作品を購入したい。作品の情報を調べ、オンラインで購入しようと考えている。



Joe

Age: 27

Education: Master of Business

Hometown: London

Family: Girlfriend

Occupation: Digital marketer

"I want my first genuine artwork for my room, but I feel pressured when I go to an art gallery."

Goals

- Find artworks that fits my room among a lot of choice.
- I want to buy artworks online without consultation by vender. I want to decide the best one with my girlfriend.

Frustrations

- It is a bit uncomfortable to go to art gallery because I don't know art that much and I don't want to talk to anyone when I decide which one I will take.
- I want to choose an artwork without feeling pressured.

Joe is a digital marketer who is curious about buying artworks. He wants to buy his first genuine artwork created by an artist for his apartment. It would be ideal if it could be done 100% online. Moreover he doesn't like getting advised by vender or a live consultation with a gallerist. He would feel pressured as he has 0 knowledge in art and thus wants to do his research before he buys anything.

ユーザージャーニーマップを作成

Persona: Joe

Goal: Study the background or history of artwork and then buy it from app

ジョーが自分の作品を
買うまでのプロセスを横に並

べ、各段階でジョーが

- どんなアクションをとるか？
- その時、どんな気持ちになるか？
- 改善できることは何？

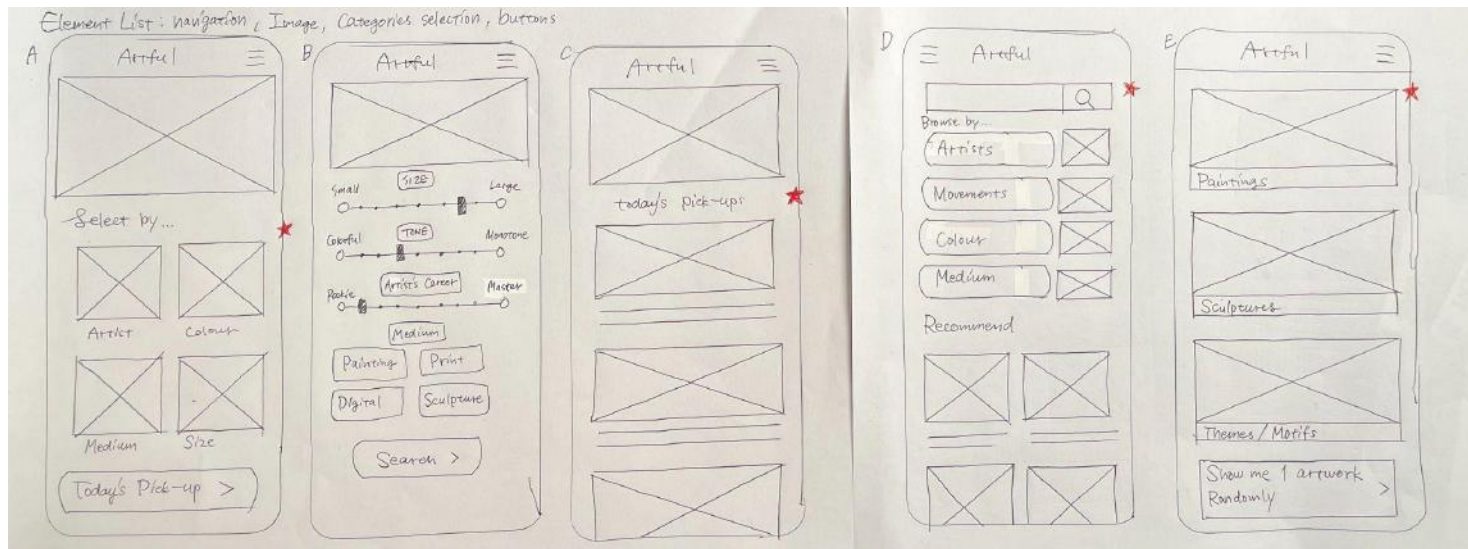
を表にまとめた。

ACTION	Get App	Search for the perfect piece	Research its concept and the artist	Order artwork	Receive artwork
TASK LIST	A. Find app B. Install C. Open app	A. Browse artworks with photo and short description B. Select item	A. Read the artist's description B. Deepen understanding of the artwork	A. Choose artworks that I want B. Provide payment information C. Select detailed information of delivery	A. Receive notification B. Pick up artwork from shipping carrier
FEELING ADJECTIVE	Confused because I don't know how the app works Slightly anxious for being out-of-place as a beginners	Excited to find a artwork I like Overwhelmed by large number of choices	Confused by a specific words for describing artwork that I don't know	Excited and satisfied for my first purchase of artwork Worried about the price of the artwork	Relieved to know the arrival of artwork Anxious in case of damaged/late artwork
IMPROVEMENT OPPORTUNITIES	Add brief tutorial Indicate that this app is designed for not only experts but also beginners	Add search filters Add very detailed alt text for every visual contents (for sight-impaired people)	Add annotation for the terminology especially used in art history Add "like" function to save favorites	Explain in details how artworks are protected during transport Allow user to track order Show return policy	Use a dedicated delivery system (In person carrier instead of UPS for example) Get feedback from user on the author page for future customer

デザイン 開始

- ペーパーワイヤーフレーム
- デジタルワイヤーフレーム
- ローフィデリティ・プロトタイプ
- ユーザビリティ・スタディ

ペーパーワイヤーフレーム

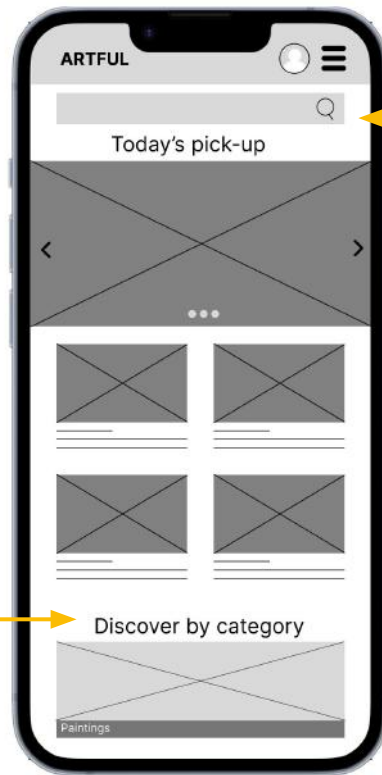


アプリケーションに実装する要素を、紙のドラフトを使って考案。ここではホーム画面をA～Eの5パターン考えた。ユーザーの時間を節約し、アクセスしやすくするために、直感的でわかりやすいナビゲーションを取り入れることを念頭に置き、気に入った物を星印をつけて選択。選んだUIは次のステップであるデジタルワイヤーフレームで使用する。

デジタルワイヤーフレーム ホーム画面

デジタルワイヤーフレームで、ベースとなる画面デザインを確認。このワイヤーフレームを使ってユーザーインタビューを行った。

カテゴリから作品を探せる。



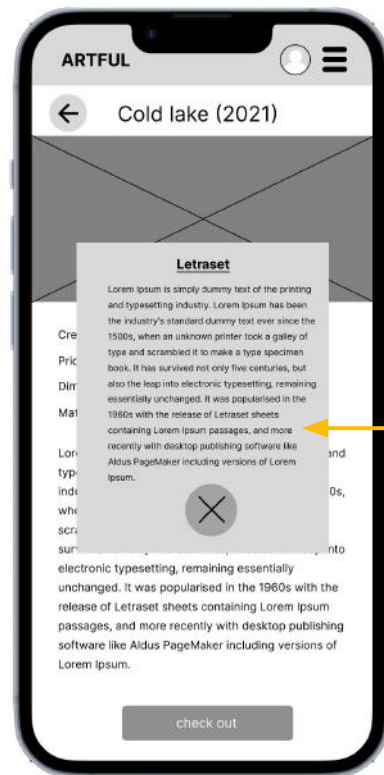
検索ボックスにより、ユーザーは特定のスタイルや特徴を持つアート作品を見つけることができる。

デジタルワイヤーフレーム 作品解説ページ

解説内に登場する馴染みのない単語には、簡単な説明がポップアップボックスで表示される。

※ポップアップにした理由：

スマホで現在のページと別のページを行ったり来たりする必要がなくなる。

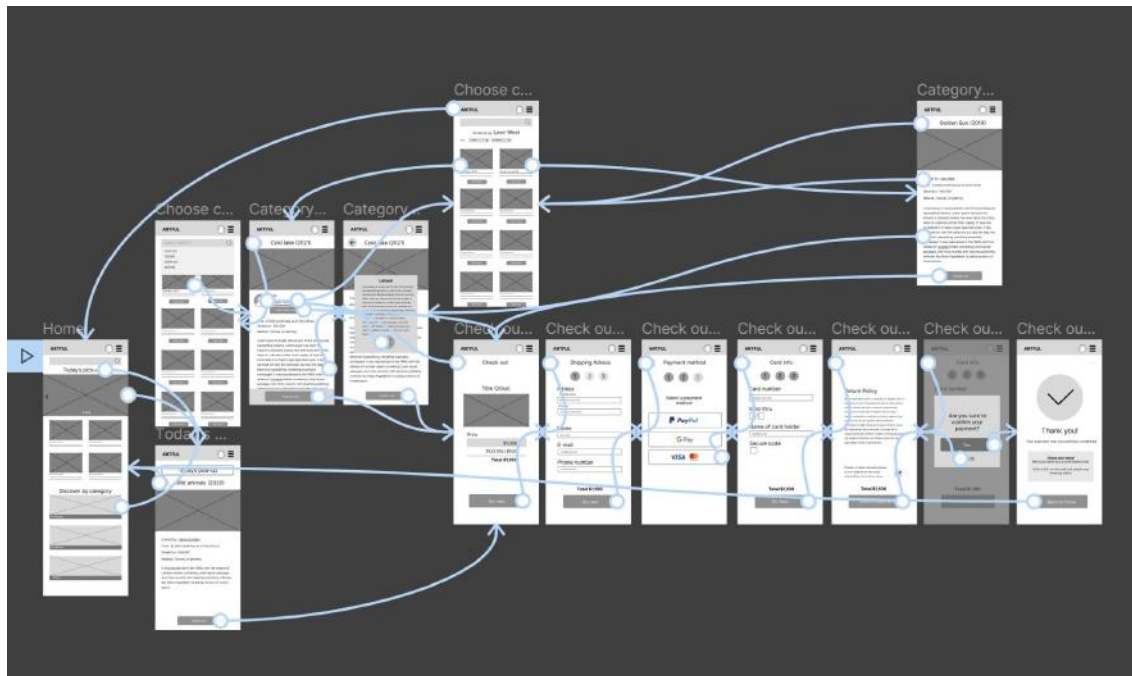


特定の単語や重要な美術用語の説明をポップアップボックスに表示します。

低忠実度プロトタイプ

低忠実度プロトタイプで、主なユーザー・フローを示す。
また、これを使ってユーザー調査も行った。

[ARTFULのロー・フィデリティ・プロトタイプ\[Figma\]](#)。



ユーザビリティ調査: 調査結果

調査結果

- 1 小さなテキストリンクはほとんどすべてのユーザーにとって見つけにくい
- 2 ユーザーは、支払いプロセスに関するより多くの情報を必要としている。

デザインの ブラッシュアップ

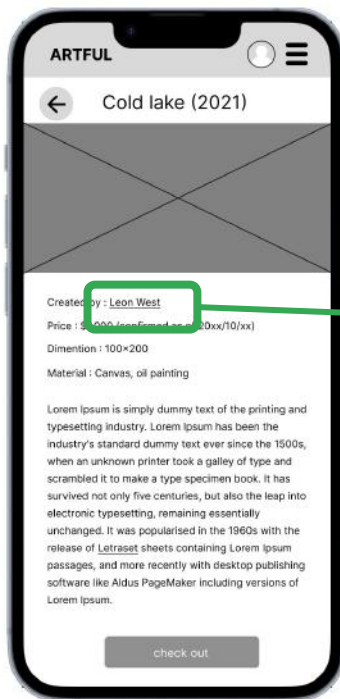
- モックアップ
- 忠実度の高いプロトタイプ
- アクセシビリティ

更新されたプロトタイプ

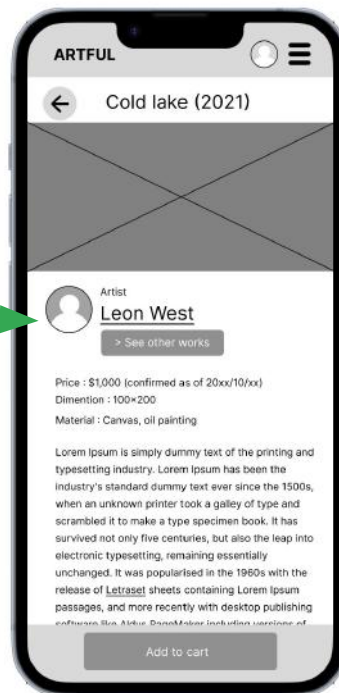
1

小さなテキストリンクはほとんどのユーザーにとって見つけにくい。
テキストリンクをボタン化し、作品リストへ遷移するボタンを設置。

ユーザビリティ調査前



ユーザビリティ調査後



更新されたプロトタイプ

2 ユーザーは支払いプロセスについてより多くの情報を必要としている

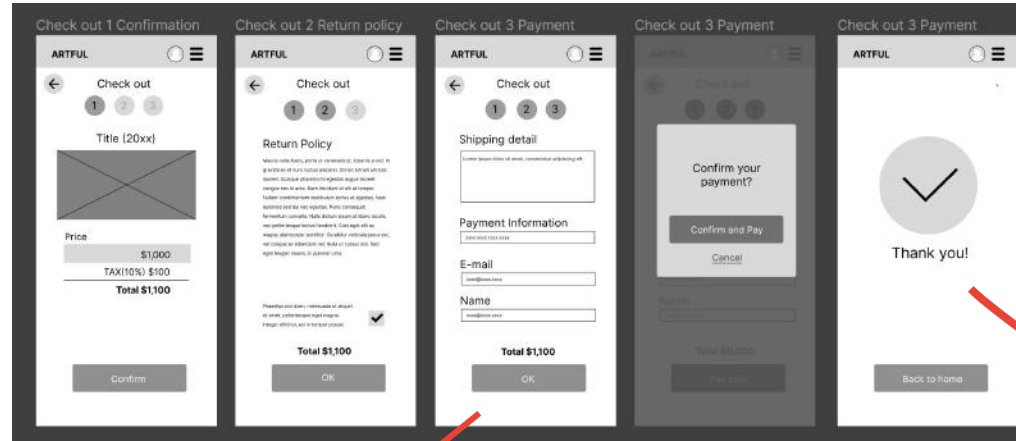
- ユーザー情報ページを 2 分割
 - ユーザー個人情報(住所、電話番号、Eメール)
 - カード情報(カード番号)
- サンキューページに、ユーザーが注文詳細のメールを受け取り、確認メールに記載されているURLから配送状況を追跡できるようにする旨の指示を追加する。

ユーザビリティ調査前

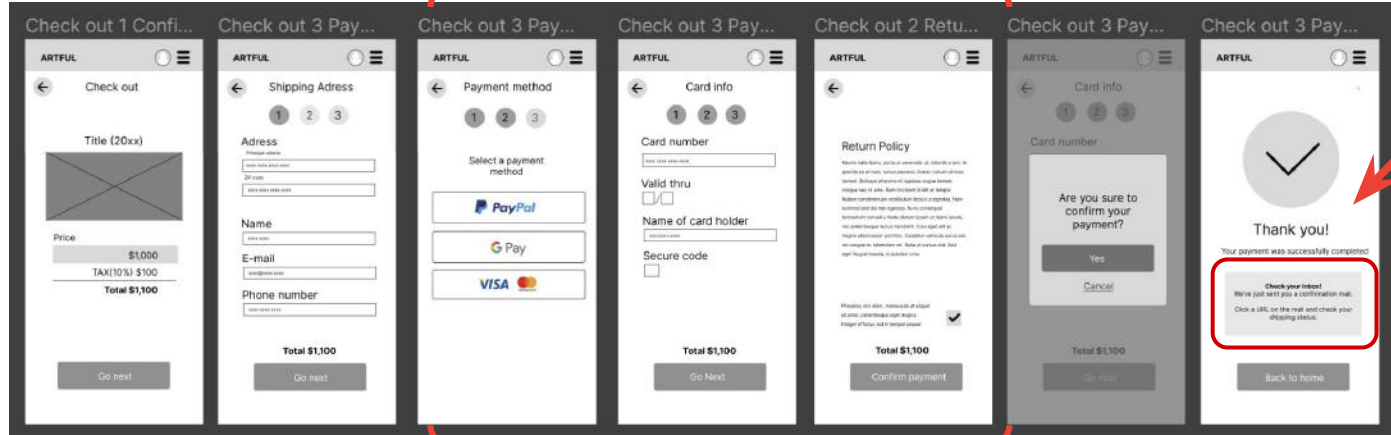
2

支払いについての情報をより詳しくした。

支払いステップを細分化、PayPal、Google Pay対応に。返品ポリシーの直後に確定ボタンを配置し自然な流れに。

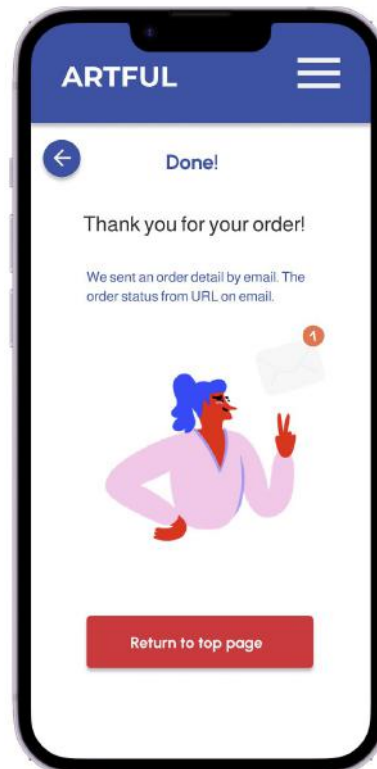
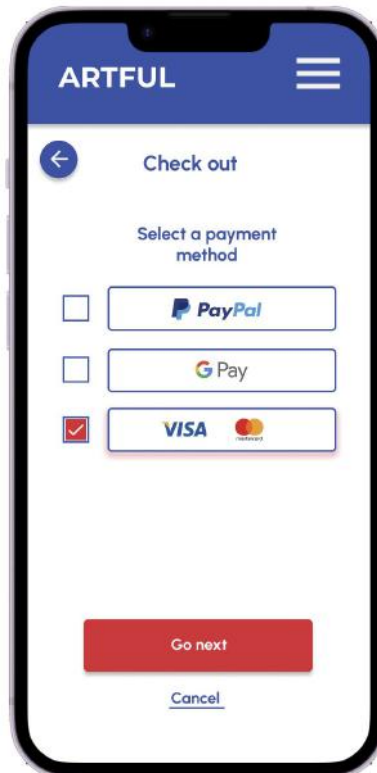
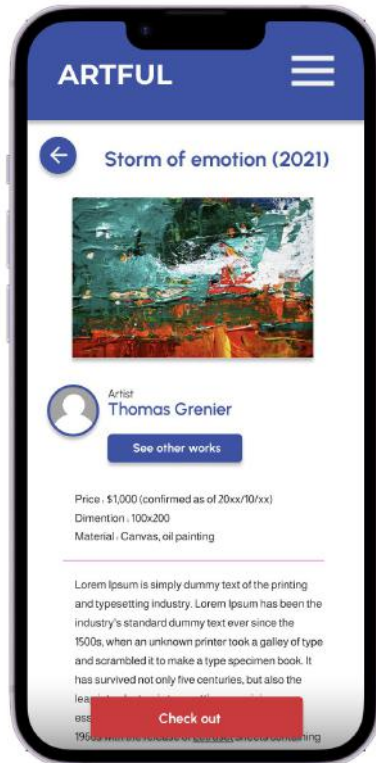


ユーザビリティ調査後



支払い完了通知がメールで届くことをお知らせ。

モックアップ

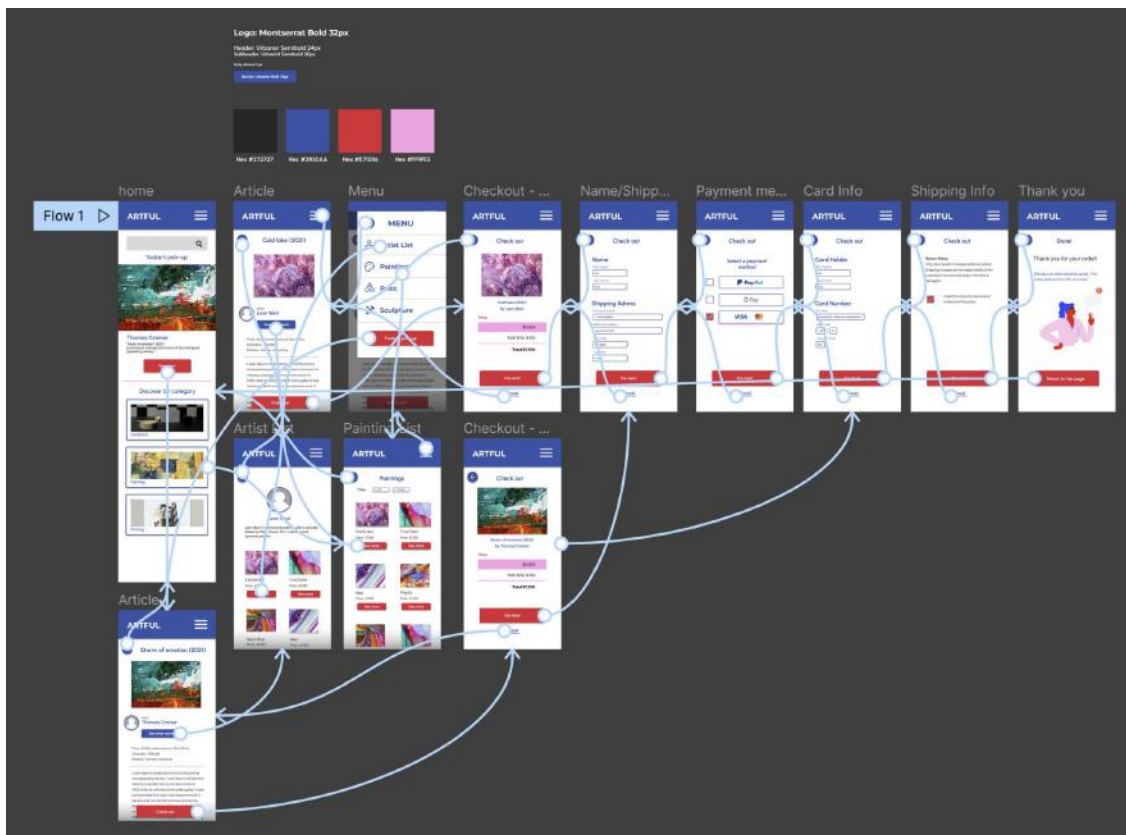


高忠実度プロトタイプ

色・写真を落とし込み、ページ同士のインタラクションを追加。

ARTFUL - 高忠実度プロトタイプ

(Figmaのページに遷移します)



アクセシビリティへの配慮

1

ボタンと背景のコントラストが
明確であることを確認。

2

モバイルアプリに不慣れな
ユーザーでもクリックしやすいように、モバイルではボタンサイズを十分に大きくすること。

今後について

- 収穫
- 次のステップへの課題

収穫



与えたインパクト:

このアプリは、初心者からアート愛好家まで、アート作品に出会い、作品を知り、購入するまでのプロセスを容易にした。



学んだこと

人によってテキストやインターフェースへの解釈は異なる。次のアクションを促す仕組みや、時には追加の説明を加える必要がある。

次のステップ

1

美術品は高額な買い物。クレジットカードやペイパル以外の主要な分割払い方法を追加してはどうだろう。

2

さらにユーザーテストを実施し、改善すべき点を見つける。

終わり



最後までご覧いただきありがとうございました！何かありましたら、お気軽にご連絡ください。



nodoka.kon@proton.me